



2016年10月31日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝
東京都港区芝浦1-1-1
代表者名 代表執行役社長 綱川 智
(コード番号: 6502 東、名)
問合せ先 執行役常務 広報・IR部長
長谷川 直人
Tel 03-3457-2100

業績予想の修正に関するお知らせ

本日開催の取締役会において、2016年度第2四半期6か月累計の連結業績予想について前回予想(2016年9月28日公表)を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、2016年度第2四半期連結決算の公表は、2016年11月11日を予定しています。

記

1. 2016年度第2四半期6か月累計

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	継続事業税引前 四半期純利益	当社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益
前回発表予想 (A)	25,500	700	300	850	20円8銭
今回発表予想 (B)	25,800	950	650	1,150	27円16銭
変動幅 (B-A)	+300	+250	+350	+300	—
増減率	+1.2%	+35.7%	+116.7%	+35.3%	—

2. 修正理由

2016年9月28日公表の前回予想は、8月末までの実績値をベースに策定しておりましたが、スマートフォン向けのメモリ及びパソコン向けやゲーム機向けのHDDの需要が引き続き旺盛で、売価水準が想定を上回って維持され、また、コスト圧縮や顧客要望による販売前倒し等の影響により、ストレージ&デバイスソリューション分野において、前回公表時と比較して約130億円の営業利益の増加を見込んでいます。

また、エネルギーシステムソリューション分野を中心に、原子力事業及び火力・水力発電事業が堅調に推移したため、営業利益は、前回公表時と比較して250億円増加し、950億円となる見込みです。

また、継続事業税引前四半期純利益は、前回公表と比較して350億円増加し、650億円となる見込みです。

なお、好調な事業がある一方で、一部の事業については黒字化に向けた追加の構造改革等の必要性について現在検討しています。2016年度通期の業績予想につきましては、これら諸施策確定後、修正が必要な場合には速やかに公表いたします。

(ご参考) 主要セグメントの業績予想は以下のとおりです。

	売上高	営業利益
エネルギーシステムソリューション	7,600 (+150)	90 (+70)
インフラシステムソリューション	5,640 (+0)	110 (+50)
ストレージ&デバイスソリューション	8,000 (+90)	780 (+130)

(単位：億円)

(注1) カッコ内は前回公表(2016年9月28日)のセグメント別の業績予想値(*)との差異

* 前回公表時は非開示としていました。

(注2) リテール&プリンティングソリューション、インダストリアルICTソリューション及びその他は記載しておりません。

以 上

*** (注意事項)**

本文書に記載されている事項には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく当社の予測です。実際の業績は、多様なリスクや不確実性により、当社の予測とは大きく異なる可能性がありますので、ご承知おきください。なお、リスクのうち主なものは以下のとおりですが、これに限られるものではありません。

- ・ 地震、台風等の大規模災害
- ・ 国内外における訴訟その他争訟
- ・ 当社グループが他社と提携して推進する事業の成否
- ・ 新規事業、研究開発の成否
- ・ 国内外の政治・経済の状況、各種規制等
- ・ 主要市場における製品需給の急激な変動及び価格競争の激化
- ・ 生産設備等に対する多額の資本的支出と市場の急激な変動
- ・ 金利為替等の金融市場環境の変化